

かかわり合いの豊かな子供を育てる 教育課程の編成

——生活単元学習の実践を通して——



平成4年1月

鹿児島大学教育学部附属養護学校

は　じ　め　に

学校長 厚 東 孝 治

太古より、人々の生活は「自然」と「人」とのかかわりを中心に展開され、人々は多くのことを「自然」に学び、「自然」から多くの感動を得てきました。しかし、近代化が進んだ現代においては、自然は失われつつあり、人々の豊かな心まで奪い去ろうとしているように感じるのであります。21世紀が間近に迫った今、原点に返り「自然」と「人」とのかかわりにおいて、教育を見直し、心豊かな人間を育てていこうとする姿勢が、今回の学習指導要領の改訂の根底にあるのではないのでしょうか。

ところで、本校におきましては、4か年計画で「かかわり合いの豊かな子供を育てる教育課程の編成」という研究主題のもと研究を進め、ここにその中間発表として、2年間の研究の成果を発表する運びになりました。冒頭に述べましたように人や物（自然を含む）とのかかわりは、人々が生活を営む上での根幹をなすものであり、障害児教育の分野のみならず、現代の教育界全体での課題とも言えるものでもあります。したがって、取り組みとしては大いに価値のある研究である反面、指導内容から指導方法までと幅広い研究領域であることから、困難性も多く抱えた研究でもあると言えます。

本校におきましては、本研究を進めるに当たりまして、まず、子供の実態把握、新学習指導要領についての研究、学校の教育目標の見直しなど、教育課程編成に関する基礎研究を行い、本校の教育課程の枠組みを構築し、次に指導の形態ごとの基本的な考えをまとめ、指導計画作成に取り組んで参りました。その中でも、今回は生活単元学習の実践を通しての研究を発表いたしますが、日々の実践を通して、指導内容・指導方法とも更に工夫・改善を加えていかなければならないことを痛感させられているところでもあります。したがって、今回の公開研究会を通して、各先生方から御意見、御指導をいただき、更に充実した研究へと発展させていければ幸いかと存じます。

各先生方の忌憚ない御批判、御叱正をよろしくお願い申し上げます。

最後に、今回の公開研究会開催に際しまして、講演を快くお引受けくださいました、横浜市立大学の伊藤隆二先生をはじめ、御後援をいただきました、鹿児島県教育委員会と鹿児島市教育委員会に感謝の意を表すとともに、研究を進めるに当たり、常に懇切な御指導を賜りました諸先生方に、深く感謝申し上げます。

平成4年1月30日

総 目 次

はじめに	校長 厚 東 孝 治
第一部 研 究 基 調	1
第二部 学 部 研 究	
小 学 部	37
中 学 部	69
高 等 部	95
第三部 生活単元学習年間指導計画	
小 学 部	122
中 学 部	202
高 等 部	234
まとめと今後の課題	274
おわりに	副校長 瀬戸口 吉三郎